

## SCONUL 加盟館の電子情報資源 (e-Resources) : 統計が私たちに教えるもの (Angela Conyers) <sup>1)</sup>

Conyers, Angela. e-Resources in SCONUL member libraries: what the statistics tell us.

SCONUL Focus, No.36, Winter 2005, p.65-67.

<[http://www.sconul.ac.uk/pubs\\_stats/newsletter/36/36.pdf](http://www.sconul.ac.uk/pubs_stats/newsletter/36/36.pdf)>

### はじめに

「電子尺度プロジェクト (e-measures project)」<sup>2)</sup>の結果、いくつかの新しいか、あるいは修正された質問が 2003-04 年度の SCONUL 統計アンケート<sup>3)</sup>に含まれた。2003-04 年度の SCONUL への報告 (SCONUL Return) には遡って「電子尺度」を含むことが決定されたが、一方ですべての図書館が回答のためのシステムを持っていないことも認識されつつあった。2004 年に「電子尺度プロジェクト」に参加した 25 館を含む、一部の図書館が回答可能なこともわかっていた。2003-04 年度についてある結果が出ることは、ひいては 2004-05 年度のより大きな反響を促進することがまた期待された。本稿はいかに多くの図書館がこれらの質問に回答したか、どのようなコメントが寄せられたか、そしてそれらの結果からどのような結論を導き出すことができたかについて考察する。

### 定期刊行物 : タイトル数 (Periodicals: Titles)

改訂された質問 (質問番号 2d~2g) は、印刷版のみ、電子版のみ、および印刷版・電子版の組合せに内訳を区分することを要求した。従来、電子版についてのカテゴリーは「印刷版および電子版」を含んでいた。結果は次のとおりであった。

	2d: 合計	2e: 印刷版のみ	2f: 電子版のみ	2g:印刷版および電子版
回答館	130	125	118	115
平均値	6,997	1,664	4,567	1,102
最小値	62	62	0	0
第一四分位数	2,153	578	674	284
中央値	6,172	1,150	3,635	628
第三四分位数	9,591	2,142	6,639	1,116
最大値	28,742	10,714	24,077	12,547
合計	909,661	207,945	538,963	126,696

質問に回答した 137 館のうち、130 館 (95%) が全定期刊行物のタイトル数を上げ、125 館 (91%) が一部について内訳を示そうとし、また、115 館 (84%) が完全な内訳を示した。

数多くのコメントがあり、これらは次の事項に関連があった。

- ・各カテゴリーの数は推定値であることが多かった。
- ・新しいガイドラインを適用したため、以前の年よりも数が少なかった。
- ・印刷版と電子版の雑誌の間には重複の可能性がある。
- ・将来、より正確な数値を示す新しい計算方法を現在準備中である。

2002-03 年度[の調査]と比べると全定期刊行物の平均[タイトル]数は、7,740 から 6,997 に減少し、それはおそらく上記のように従来は多く数え過ぎていたというコメントを反映している。他方、印刷版のみの平均タイトル数は、3,106 タイトルから 1,664 タイトルに減少し、また、電子版のみと印刷版および電子版の合計は 4,885 タイトルから 5,669 タイトルに増加した。これは均衡が印刷版から電子版へ移動し、また、図書館が新しいガイドラインを使用して印刷版購読と電子版購読を分離しようとする一層の努力を重ねていることを示しているかもしれない。

### データベースと電子ブック (Databases and E-books)

データベースのタイトルは従来、定期刊行物についての質問に含まれており、電子ブックは図書館についての質問に含まれていた。それで、以前の年度と比較することができない。新しい質問である 2k および 2l の結果は次のとおりであった。

	2k: データベース	2l: 電子ブック
回答館	126	121
平均値	74	5,621
最小値	0	0
第一四分位数	30	2
中央値	46	200
第三四分位数	96	779
最大値	699	456,856
合計	9,315	680,191

### データベース

この質問 (2k) に全部で 126 館が回答した。一部の図書館が回答に含めたデータベースの明細を示した。さまざまなコメントが、質問に付いていた「定義表 (Definition table)」<sup>4)</sup>に関連する。それはどのタイトルがここに含まれるか、定期刊行物の下になるのか、電子ブックの下になるのかを定義する。これらの定義についての多数の質問が電子メールで寄せられ、それらには表を更新し、より包括的なものとする要求があった。

### 電子ブック

121 館 (88%) が電子ブックについての質問 (2l) に回答したにもかかわらず、これらのうち 35 館に電子ブックがなく、さらに 12 館については 10 タイトル未満であっ

たことは特筆に値する。これは 2003-04 年度についてかなりの数の電子ブックを持っていると報告している 74 館（全回答館の 54%）を与えてくれる。一部の図書館が新しい定義に注意しているにもかかわらず、電子ブックの最大タイトル数(456,756)は、これがずっとそうだったわけではないことを示し、もう一度、これらの数値に整合性が求められることを強調している。

コメントは次のとおりであった。

- ・統計が入手できないので一部のタイトルやコレクションの明細が除外された。
- ・電子ブックの利用期間が限られていた（多くの図書館は調査の対象年にコレクションを収集した）。
- ・納入業者によって数え方が異なる。
- ・アグリゲータの統計の食い違い。
- ・推定値。

#### 論文フルテキスト要求：電子ブックのアクセス数 (Full-text Article Requests: E-book Accesses)

これらの質問（4r および 4s）は従来の電子情報資源のセッション件数（electronic resource sessions）（4c）および閲覧・ダウンロード件数（number of views/downloads）（4d）に代わるものである。結果は次のとおりであった。

	4r: 論文要求	4s: 電子ブック
回答館	80	72
平均値	365,456	4,331
最小値	832	0
第一四分位数	124,562	333
中央値	262,083	1,933
第三四分位数	488,206	5,571
最大値	2,112,564	31,123
合計	29,236,514	311,852

#### 論文フルテキスト要求

80 館（全回答館の 58%）がこの質問（4r）に回答した。2003-04 年度を通じて適切な記録システムを持つ必要性が示されていたことを考えれば、これは良い結果である。コメントは次のとおりであった。

- ・データが入手できないか、データが収集できなかったのでサービスの明細が含まれなかった。
- ・アグリゲータや出版者によって入手した数値が異なっていた。

- ・限られた数の出版者や限られた期間に基づいて推定した。
- ・現在、システムは改良されたデータ・コレクションを導入中である。
- ・Athens の数値を使用した、Athens にはキャンパス内の利用が含まれていない。

これらのコメントは、多数の回答館が正確で整合性のある結果を得るために努力を払っていることが明らかであるにもかかわらず、これらの数値の解釈に注意を払う必要があることを示している。より多くの出版者が COUNTER 準拠となるにつれて、[適正な数値が取得できる]範囲が改善されるべきである。

### 電子ブックアクセス

72 館（全回答の 52%）がこの質問（4s）に回答した。上記のように 10 タイトル以上所蔵しているのはたった 74 館であるので、これは実際には高い回答である。

コメントは次のとおりであった。

- ・限られた期間（多くの図書館は電子ブックを 2003-04 年度に収集した）
- ・さまざまな納入業者によるさまざまな計算方法
- ・不完全なデータ

さらに、実際の結果は注意して扱わなければならない。電子ブック用の新しい COUNTER 実施コードは、将来、アクセスの計算が結局より整合性があるものになるようにすべきである。

これらの新しい質問の両方について、古い「電子情報資源のセッション件数」や「閲覧・ダウンロード件数」に対して寄せられた、限られたそして種々雑多な回答に比べて、結果は一段と整合性があるように見え、それは、将来、セクターを横断した、もっと信頼性のある方法で電子ジャーナルや電子ブックの利用を追跡するのに役立つべきである。

### 逐次刊行物の予約購読費用（Serials Subscriptions）

印刷版のみ、電子版のみ、および印刷版と電子版の両方という内訳は維持されたが、新しいガイドラインでは 2d から 2g で報告されたタイトル数と 4r の利用統計の質問に費用を関連付けることが目的とされていた。

	7b: 合計	7c: 印刷版のみ	7d: 電子版のみ	7e:印刷版および電子版
回答館	137	83	79	73
平均値	649,198	302,956	156,683	249,899
最小値	1,119	1,119	0	0
第一四分位数	198,810	65,457	20,333	67,523
中央値	477,392	203,000	77,210	172,700
第三四分位数	814,107	370,773	228,501	343,030
最大値	3,033,227	2,364,074	837,900	1,280,696
合計	89,940,170	25,145,377	12,377,963	18,242,600

全回答館は逐次刊行物の予約購読費用の合計値を示し、83館（61%）は一部内訳を示すことができた。印刷版のみの費用の平均値は、2002-03年度の327,433ポンドに比べて2003-04年度の302,956ポンドまで減少し、一方、電子版のみは、132,804ポンドから156,863ポンドに増加し、印刷版および電子版は186,598ポンドから249,899ポンドに増加した。

### 電子情報資源[の費用] (Electronic Resources)

「電子情報資源 (electronic resources)」の質問は、次のように、現在、データベース、電子ブックおよびその他に、区分された。

	7g: 合計	7h: データベース	7j: 電子ブック	7k:その他
回答館	132	112	101	91
平均値	161,852	159,384	8,470	3,288
最小値	0	0	0	0
第一四分位数	50,821	65,041	0	0
中央値	147,700	149,827	3,265	0
第三四分位数	240,145	220,860	8,630	2,115
最大値	585,436	563,529	198,968	84,523
合計	21,364,440	17,850,971	855,490	299,225

132の回答館のうち、112館（85%）は一部内訳を提供したが、多くは実際の値が「充て推量である」と示していた。

上記の値のように、電子ブックに関連した回答がない館が多数あり、それは特に他のカテゴリーについて著しく、実際には38館が報告したに過ぎなかった。

### 比率の開発 (Developing Ratios)

統計の収集と出版を管理している、SCONUL パフォーマンス改善ワーキング・グループ

ープは、この試験段階で SCOUNL 統計に「電子尺度比率 (e-measures ratios)」についての正式のレポートがないことに同意していた。興味本位で知るために(そして、「電子尺度」のために作業を行なっている中央イングランド大学のエビデンス・ベース (evidence base at the University of Central England) の私の同僚と私の作業に関連して)、私はそれらの値からいくつかの比率を作り出した。それらは要求単価 (cost per request)、電子ジャーナルのタイトル単価 (cost per title for e-journals) および電子ブックのタイトル単価 (cost per title for e-books) を示す。これらの比率を作り出すために電子ジャーナルについての十分な情報が 47 館によって提供され、平均要求単価は 1.81 ポンドであり、平均タイトル単価は 176.23 ポンドであった。電子ブックについては 50 館が十分な情報を提供し、また、平均アクセス単価は 9.95 ポンドであり、平均タイトル単価は 17.63 ポンドであった。電子ジャーナルに比べて電子ブックの平均費用の範囲は非常に多様であり、それは、この成長領域では費用と利用を追跡することが上記のように特に難しいことを説明している。

### まとめと勧告

整合性が一部欠けているにせよ、図書館は明らかにこれらの新しい「電子尺度」質問に回答しようと努力しており、この試験段階で、50 館が派生予定の比率のために十分な情報を提供することができたという事実は、将来、SCOUNL 統計の他のセクションで行なっているように図書館がこれらの統計をベンチマーキングのために利用できるであろうことを示す。

電子ブックの購入および利用の増加が追跡できるように、これらの質問で支出の中心が印刷版から電子版へ移行していることが追跡できる。相互貸借件数の減少 (2002-03 年度の平均 7,024 件から 2003-04 年度の平均 6,278 件) は、電子情報資源の利用について正確な数値を持つことが重要であることを示すもっともな要因の一つである。

### 訳注

- 1) evidence base, UCE Library Service, University of Central England, Perry Barr, Birmingham B42 2SU. Tel: 01303 240236. E-mail: Angela.Conyers@uce.ac.uk
- 2) 2003 年から 2005 年にかけて HEFCE-funded Libraries: Outcomes and Measures project.の一部として中央イングランド大学のエビデンス・ベースが 25 の大学図書館と共に行なったプロジェクト。図書館の意思決定と利用者支援に援助し、電子情報サービス用の最新の一連の統計指標と尺度を開発し、SCOUNL と共同で電子情報サービス用の標準的なパフォーマンス指標として、高等教育図書館セクターでテストし、修正し、展開することを目的としていた。  
<<http://www.ebase.uce.ac.uk/emeasures/emeasures.htm>>
- 3) SCOUNL (Society of College, National & University Libraries) が 1984/85 年度から毎年行なっている大学図書館統計調査 (SCOUNL Annual Library Statistics) のアンケートで、現在ウェブフォームで提供されている。  
<[http://www.sconul.ac.uk/pubs\\_stats/stats.html](http://www.sconul.ac.uk/pubs_stats/stats.html)>

4)e-measures definition table については以下の URL を参照。  
<<http://www.ebase.uce.ac.uk/emeasures/sconul.htm>>